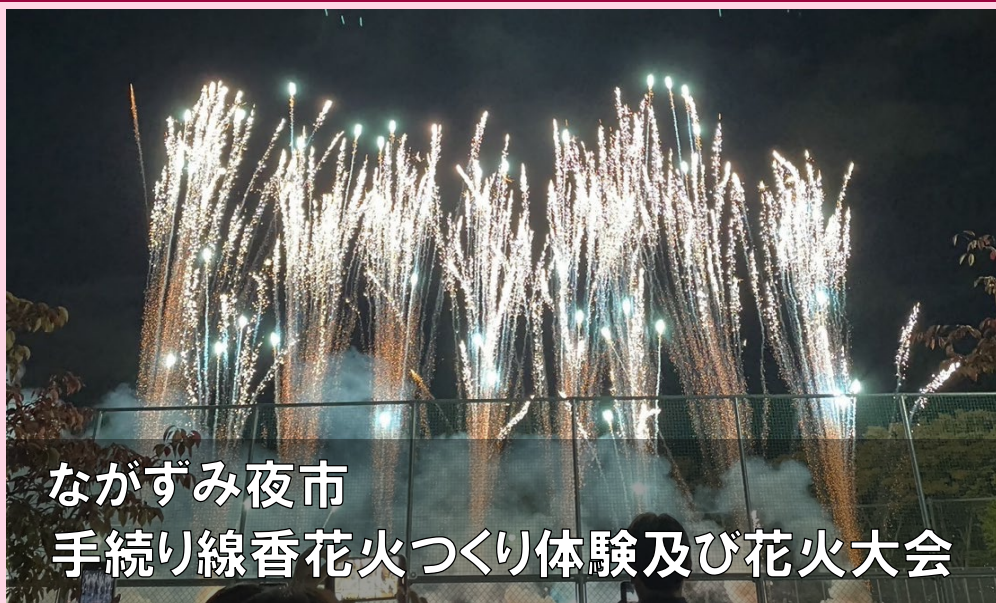


長住大通り商店街

どんな商店街？

長住大通り沿いに点在する会員店舗で構成されており、主な利用者は日常生活圏内の近隣住民です。

商店街会員を中心に「ながずみ夜市」「長住まつり」を開催し、南区に住む地域住民の認知向上に繋げています。また、九州産業大学や大分県玖珠町と連携した、ブランド力の強化に挑むなど、地域からの情報発信に精力的に取り組んでいます。



ながずみ夜市 手続り線香花火つくり体験及び花火大会

防犯意識向上に街を挙げて取り組むために

1. 商店街の課題

夜市を開催することで、普段夜にはシャッターを閉めている商店に対しても明かりを灯してもらい、**地域課題でもある防犯意識**について街を挙げて取り組んでいます。また、夜市をきっかけに、日頃商店街に触れる機会の少ない働きがりの親御さんにも商店街の魅力を発見してもらい、リピーター獲得につなげたいと考えています。

2. 「ながずみ夜市」を開催

昨年、夜市で初めて実施した「芸術おもちゃ花火大会」が多くの方から好評いただき、「長住大通り商店街」の認知度向上につながったと実感したため、今年も引き続き実施することとしました。加えて当日は、**商店街店舗の軒先での特卖会や、線香花火つくり体験等を実施し、予想を上回る人が来場しました。**



3. 効果があったと思われること

予想を上回る来場者により、警察、消防の指示で予定の警備員数以上の人員を必要とし、主催者販売のドリンクを販売することができませんでした。そのため、当初予定していたドリンク売上用いた前年度比較ができませんでした。

しかし、警察との目視による確認の結果、**前年度120%超を達成し、SNSのフォロー数も増加しました。**

4. 来街者の声・会員さんの声

○来街者の声

- ・長住が花火を上げられるくらい元気になってうれしい。
- ・来年もぜひ開催してほしいので、会員さんたちを応援します。

○会員さんの声

- ・予想以上の人出で、是非続けてほしい。との声多数

また、自治協議会からは、「来年はぜひ校区を代表するイベントとして関わっていきたい」と申し出をいただきました。



同時開催されたキャンドルナイトの様子

5. 反省点や今後の取り組み

「ながずみ夜市」も13年目を迎え、地域住民からはさらに期待する声を多くいただくようになってきました。「ながずみ夜市」は商店街のみならず、地域の大事な行事としての位置づけを確立しつつあります。

今後も花火大会を継続するのであれば、収益の確保は急務かつ必須であり、地域と連携しながら今後も継続できるよう努力してまいります。